

CHALLENGE 東京五輪 ⑪

3人制バスケットボール 小寺裕介（ゼッスリー）

弾」を抱えるベテランには水が合った。選手は国際バスケットボール連盟から大会出場実績や得点力などを基にランク付けされ、小寺は日本人5位（4日時点）。4人の日本代表枠を争う闘

リーグの高松ファイブアローズとプロ契約、その後、金沢武士団などでプレーした。

石川に移住

金沢在籍はわずか1シー

スケ用品を販売する「4T H STREET」で働く傍ら、子どもたちにバスケットを教えている。「全国優勝や選抜チームと無縁だった。でも諦めなかったから、チャンスをつ

遅咲きの元Bリーガー

いは佳境に入る。

東京に生まれ、小学4年で競技を始めた。大学時代、自動車ディーラーの内定を辞退して夢を追い、卒業から苦節6年で当時bjリーグ

ズンだが、街並みや文化に感銘を受け、引退後、石川に移り住んだ。野々市市内で愛媛出身の妻江梨さん（34）、長女由依ちゃん（4）と3人で暮らす。市内でバ

かんだ。妻や娘、教え子に日の丸を背負う姿を見せた。苦労人の思いは強く真っすぐだ。（毎週火曜日付に掲載します）



仕事の合間を縫って練習する小寺
＝野々市市スポーツセンター

昨年6月に開幕した3人制バスケットの国内最高峰リーグ「エグゼ・プレミア」に、ゼッスリー（金沢）の主将として参戦した。3人制の東京五輪採用を受け「まだ気持ちは切れていない」と復帰を決意した。引退の要因にもなった右膝の痛み、5人制とは勝手の違うスタイル。そんな不安も、五輪の夢が吹き飛ばした。

34歳、日本人5位

コートの広さは5人制の半分以下。運動量より技術が物を言うだけに、膝に「爆

探求と反骨で夢つかむ

こでら・ゆうすけ 東京都出身、野々市市在住。実践学園中―実践学園高―東京経済大。2012年からbjリーグの高松、群馬、金沢でプレーし、17年にBリーグ2部・岩手で現役引退。シューティングガードで、3点シュートが得意。18年創設の3人制バスケットリーグ「エグゼ・プレミア」に、金沢市を拠点とするゼッスリーの一員で参戦し、中地区2位の50アシスト、4位の127得点を記録。日本代表候補。180センチ・78キロ。34歳。